国 際 教 室 国 語 科 学 習 指 導 案

令和 4 年10月 第 3 学年 指導者 加藤 敦子

- 1 単元名 絵文字の特長をとらえよう「くらしと絵文字」
- 2 単元観 ※省略
- 3 児童の実態及び指導方針 ※省略
- 4 研究との関わり ※省略

5 単元の目標

- (1) メモを基にして絵文字を説明する文章を書く際に、主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、接続語や段落の役割について理解することができる。(知識及び技能)
- (2) 相手や目的を意識して、身の回りで見付けた絵文字から説明したい絵文字を選び、「始め・中・終わり」の三つの段落構成で伝えたい内容を考えることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 身の回りの様々な絵文字がどのようなことを表しているかなどについて教材文を基に考え、自分が見付けた絵文字について説明する文章を書こうとする。(学びに向かう力、人間性等)

6 単元の評価規準

- (1) 知識·技能
- ① 主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。
- (2) 思考・判断・表現
- ① 相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
- ② 内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。
- (3) 主体的に学習に取り組む態度
- ① 文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、自分が見付けた絵文字について説明する文章を書こうとしている。
- ② 絵文字を紹介する説明文を、話し合ったメモの内容を基にして書き、相手に伝わるように進んで発表したり感想を伝えたりしようとしている。

7 指導と評価の計画 (全5時間)

過	時	●ねらい	知	思	態	◇評価項目<方法(観点)>			
程	間	○学習活動 ☆ ICT活用				〔記〕:記録に残す評価			
つ	1	●身の回りで見付けた絵文字を説明す			0	◇学習活動の見通しをもち、興味・関			
カュ		る文章を書くという、単元の見通し				心を示している。			
む		をもてるようにする。				<発表(態①)>			
		○身の回りで見付けた絵文字を説明す							
		る文章を書くことを知る。							
		○教科書の例文を音読し、三つの段落							
		にどのような内容が書かれているの							

		かの大体を知る。 自分が説明したいと思う絵文字を見付ける。「単元の学習課題]身の回りの様々な絵文字がどのよう特長にふれながら説明する文章を書	_		· ·表し	しているかなどについて話し合い、			
追究する	2	● 「始め」の段落で、Google Jamboardの付箋機能を使い、見付けた絵文字の紹介について説明する文章のメモを書くことができるようにする。 ○教科書の例文を基に、見付けた絵文字の紹介について、メモを書く。 (☆) [本時の学習課題] (めあて) 絵文字をしょうかいする文章のメ	モを	·書こ	5 .	◇教科書の例文を基に段落構成を考え、絵文字を見付けた場所や意味について、メモを書いている。 <メモ・発表(思①)>			
					, , ,				
	3 本 時	 「中」の段落で、Google Jamboard の付箋機能を使い、見付けた絵文字 の特長について説明する文章のメモ を書くことができるようにする。 ○見付けた絵文字の特長について、メ モを書く。 (☆) 				◇「くらしと絵文字」に示された三 つの特長のどれが最も当てはまる かを関連付けながら考えている。 また、その特長の理由を「~の で」の接続助詞に当てはまるよう にして、メモを書いている。 <メモ・発表(思①)[記]>			
	[本時の学習課題] (めあて) 絵文字をせつ明する文章のメモを書こう。								
	4	「終わり」の段落の内容(考えたことや感想)を、文章に書くことができるようにする。○絵文字の便利なところやよいところなどについて、文章を書く。(☆)		0		◇身の回りの絵文字がどのように便利であるかを、会話を通して理解し、文章に書いている。〈文章(思②)〉			
		[本時の学習課題] (めあて) 考えたことや感想を書こう。							
まとめる	5	●メモを基に、説明する文章を書き、 発表し合えるようにする。○説明文を書き、発表し、感想を伝え 合う。	0		0	 ◇メモを基に段落ごとにどのような内容の説明が書かれているかを理解している。			

[本時の学習課題] (めあて) メモを基に絵文字をしょうかいする説明文を書き、発表しよう。

8 本時の展開(3/5時間目)

(1) ねらい

「中」の段落で、Google Jamboardの付箋機能を使い、見付けた絵文字の特長について説明する文章のメモを書くことができるようにする。

日本語の目標

伝えたい内容を、「~ので、~です。」の接続助詞を正しく使って、表現することができるように する。

(2) 準備

タブレット、教科書を参考にしたメモの拡大用紙、三つの特長が書かれた模造紙、校外学習のメモ、 絵文字が書かれている実物、プロジェクタ、スクリーン、ホワイトボード

絵プ	絵文字が書かれている実物、プロジェクタ、スクリーン、ホワイトボード						
(3)	展開						
時	○学習活動	◎研究上の手立て					
間	・想定する児童の意識	○指導上の留意点					
	☆ ICT活用	●努力を要する児童への支援					
		◇評価項目<方法(観点)>					
導	1 短い文を使って、校外学習につい	◎「ぐんまのかけはし」の中で、本時の内容に沿っ					
入	て発表し合う。	た指導プログラム「季節を感じよう」を基に、校					
10	○「校外学習のことを伝えよう」	外学習の内容について、理由を伝える「~ので」					
分	を、文型に当てはめて短い文で表	を取り入れた文を考えて発表し合う。					
	現できるよう、話し合う。	○前時に、校外学習の活動内容について、楽しみな					
	・(校外学習は)虫が見られるの	ことや心配なことなどをカードでまとめておき、					
	で、楽しみです。	想起できるようにする。					
	(校外学習は)みんなと行くの	○短文で話すことができるよう、ホワイトボードに					
	で、楽しみです。	定型文を掲示する。					
	・(校外学習は)幼虫が苦手なの	○展開の場面で、定型文を想起し活用ができるよ					
	で、心配です。	う、話すことを中心に学習を進めていく。					
展	2 本時のめあてを知る。						
開	[本時の学習課題](めあて)						
1							
10	MAX 1 2 C 2 3 1 7 W X 7 W 2 C C						
分							
	○三つの段落構成の「中」では、	◎導入の学習を基に、三つの特長のどれが当てはま					
	「くらしと絵文字」に示された三	るかを、「~ので」の接続助詞を取り入れなが					
	つの特長のどれが最も当てはまる	ら、メモを書く。					
	かを考える。 (☆)	○実物を見せながら、特長を考えられるようにす					
		る。					
	○なぜその特長なのか、絵文字を見	○どの特長が当てはまるか自力で考えられるよう					
	て、表されていることをメモに書	に、三つの特長を模造紙で掲示しておく。					
	< ∘	○絵文字でどのようなことが分かるのか、教科書を					

基にした例を示して、メモに表せるようにする。 ②自分の力でメモが作成できるよう、音声入力を使 用させる。また、定型文のあるシートとないシートを実態に応じて使用させる。

- ○それぞれの児童が入力しやすいように、シートを 分ける。
- ○書き方が分からなかったら、メモの例や友達のメ モを参考にしてもよいことを伝える。そのため に、考える時間や入力の時間を十分に取る。
- ○特長が二つ以上ある場合には、付箋の色を変え て、分かりやすくするように伝える。
- ●絵文字から分かる内容を教師が一緒に確認し、メモに生かせるようにする。

開 ②

> 20 分

> 展

- 3 一人ずつ画面を共有し、メモの内 容について話し合う。
 - ○絵文字が、三つの特長から選んだ 特長と合っているかどうかを考え る。また、特長の理由を「~の で、~と分かる。」の接続助詞に 内容が当てはまっているかを考え る。(☆)
 - アルミと大きく書いてあるので、 アルミ缶だと分かる。
 - ・電池の絵なので、充電がどれくらい残っているか分かる。

- ◎Google Jamboardの画面を共有し、分かりやすい 説明のメモになっているかを話し合いながら確認 していく。
- ○絵文字とその特長を全体で確認し合い、分かりや すいメモが書けた時は全体で賞賛し合い、指摘だ けにならないように支援をしていく。
- ●話合いの中で、考えが異なったりメモが違ったり する時は、指導者が正しい内容を示す。
- ◇「くらしと絵文字」に示された三つの特長のどれ が最も当てはまるかを関連付けながら考えてい る。また、その特長の理由を「~ので」の接続助 詞に当てはまるようにして、メモに書いている。

<メモ・発表(思①)[記]>

と め 5

分

ま

- 4 本時のまとめと振り返りをする。
 - ○本時の学習のめあてを振り返り、 どのようなことができたかを発表 し合う。
 - 表にまとめると、分かりやすい。
 - ・友達に教えてもらいながら、メモを書くことができた。

○次時の学習の意欲につながるよう、メモが書けた ことや発表できたことを賞賛する。

(4) 板書計画

